

有田キャンパス開設記念公開講座

2018

佐賀大学芸術地域デザイン学部は平成28年に、
芸術で地域創生を担う人材養成を目的として開設されました。
佐賀大学では、有田キャンパス開設を記念して、
昨年度から芸術教養の公開講座を開講しています。
この講座では芸術地域デザイン学部教員の
さまざまな領域にわたる研究を分かりやすく紹介します。
これらが有田にさらなる専門への扉を開き、
新たな視点・接点が生まれることを期待しています。

芸術教養Ⅲ 18:20~19:40

- | | | |
|-----------------------|-------|--------|
| 1 芸術の力3「ルーブル美術館とその歴史」 | 小坂 智子 | 6月 12日 |
| 2 デザインの力3「右利き社会とデザイン」 | 荒木 博申 | 7月 10日 |
| 3 地域とアート | 山下 宗利 | *8月 7日 |
| 4 郷土・地域・日本を取り巻く国際関係 | 山崎 功 | 9月 11日 |

芸術教養Ⅳ 18:20~19:40

- | | | |
|--------------------------------|-------|---------|
| 1 芸術の力4
「人間の欲望と美術」 | 吉住 磨子 | 10月 9日 |
| 2 デザインの力4
「映像表現を基盤としたコンテンツ」 | 中村 隆敏 | 11月 13日 |
| 3 触感覚と造形 | 徳安 和博 | 12月 11日 |
| 4 西洋画と表現 | 小木曾 誠 | 1月 8日 |
| 5 漆造形との出会い | 井川 健 | 2月 12日 |
| 6 染色でかたちを創ること | 鳥谷さやか | 3月 5日 |

開講日=毎月第2火曜日(*8月のみ第1火曜日)

会場=佐賀大学有田キャンパス 2階 講堂

有田町大野乙2441-1(裏面地図参照)

対象=関心がある方ならどなたでも

定員=50人程度

講習料=芸術教養Ⅲ:2,000円

芸術教養Ⅳ:3,000円

単回参加:600円/回

(Ⅲ・Ⅳ同時申し込みの場合4,000円)

お申し込み方法

佐賀大学学務部教務課

Tel: 0952-28-8334, 0952-28-8990

Fax: 0952-28-8991

佐賀大学公開講座のウェブサイト

(「佐賀大学公開講座」で検索)より、
お問い合わせフォームに氏名、郵便番号、住所、
電話番号、メールアドレス記入の上お申し込みください。
受講料は初回受講の際に受付でお支払いください。
新規受付は各講座当日に会場でも受け付けます。

後援:有田町教育委員会



佐賀大学芸術地域デザイン学部
840-8502 佐賀市本庄町1番地
Tel: 0952-28-8349 Fax: 0952-28-8361
佐賀大学有田キャンパス
844-0013 西松浦郡有田町大野乙2441-1
Tel: 0955-29-8888 Fax: 0955-43-3033

A
有
R
田
T
A
で
生
み
出
す
芸術地域デザイン学部による芸術教養シリーズ

2018講師紹介

芸術教養シリーズはどの回からでも受講できます。
 芸術教養I~Vのそれぞれのシリーズにおいて
 全ての講座を受講した方には修了証を授与します。
 またこのシリーズを経て興味を深めたい専門性について
 ご要望に応じて新たな公開講座の開講を検討しますので
 ふるってご参加ください。

芸術教養Ⅲ 6月12日～9月11日

小坂 智子 (博物館学)



芸術の力3「ルーブル美術館とその歴史」：近代的美術館としてのルーブル誕生の経緯と、その見どころを紹介します。
 慶應義塾大学文学部哲学科美学美術史学専攻卒業/シドニー大学大学院文学部芸術学専攻修士課程修了/石橋財団ブリヂストン美術館、慶應義塾大学アート・センター、長崎国際大学教授、佐賀大学文化教育学部教授を経て芸術地域デザイン学部教授

荒木 博申 (デザイン)



デザインの力3「右利き社会とデザイン」：人間はどのように世の中をデザインしてきたか、有形・無形を問わず考えてみましょう。
 筑波大学芸術専門学群卒業/インハウス、フリーランスデザイナーの傍ら筑波大学大学院芸術研究科修士課程(視覚伝達デザイン)修了/兵庫教育大学助教授を経て1999年に佐賀大学へ/文化教育学部助教授・教授を経て芸術地域デザイン学部教授

山下 宗利 (地理学)



地域とアート：アートイベントがコミュニティの醸成にいかに関与するかを、ソーシャルキャピタルを用いて解説します。
 筑波大学大学院地球科学研究科(地理学・水文学専攻)単位取得退学(理学博士)/佐賀大学教育学部、文化教育学部を経て芸術地域デザイン学部教授

山崎 功 (エリア・スタディ/アジア国際関係)



郷土・地域・日本を取り巻く国際関係：有田・九州とのゆかりの深い人物の紹介をきっかけに、近現代九州・日本とアジアを取り巻く国際関係について紹介します。
 早稲田大学大学院修士課程修了、アムステルダム自由大学Ph.D.プログラム指導終了中退。早稲田大学社会科学研究所助手、アムステルダム自由大学助手、佐賀大学文化教育学部講師、助教授、准教授、教授を経て芸術地域デザイン学部教授

芸術教養Ⅳ 10月9日～2019年3月 5日

吉住 磨子 (美術史)



芸術の力4「人間の欲望と美術」：美術を飾る、買う、習うなど、美術に関わる日常の行為の背景にある人間の欲望の歴史を探ります。
 津田塾大学(学士)、金沢大学(修士)、英・アバディーン大学(博士)/金沢卯辰山工芸工房勤務後、1995年10月から佐賀大学講師/佐賀大学芸術地域デザイン学部教授

中村 隆敏 (映像デザイン)



デザインの力4「映像表現を基盤としたコンテンツ」：見ることから体験することへと変容する映像表現のいまを概観し、地域を活かすコンテンツへの応用を考察します。
 佐賀大学特設美術・工芸課程卒、同大学院工学系研究科修士後期課程修了/佐賀県立有田工業高等学校教諭、佐賀大学文化教育学部教授を経て芸術地域デザイン学部教授

徳安 和博 (彫刻)



触覚と造形：鍋島直正銅像の制作過程を追いつながりモニュメント彫刻における造形的工夫について述べていきます。
 1990年佐賀大学教育学部特別教科教員養成課程美術・工芸卒業/1992年岡山大学大学院教育学研究科美術教育専攻修了/2008年佐賀大学文化教育学部講師に就任/現在佐賀大学芸術地域デザイン学部教授/日展特選2回/日展準会員/2017年鍋島直正銅像制作

小木曾 誠 (西洋画)



西洋画と表現：西洋画と言えば油彩を想像されるかもしれませんが、油彩や、テンペラ、フレスコなどを簡単に描いてみましょう。
 1975年奈良県生まれ/2005年東京芸術大学大学院美術研究科後期博士課程油画技法材料研究室単位取得満期退学/個展多数/現在、白日会会員、佐賀大学芸術地域デザイン学部准教授

井川 健 (漆・木工芸)



漆造形との出会い：漆の紹介を入口として工芸の作品制作について考えます。
 京都市立芸術大学大学院美術研究科博士(後期)課程修了/漆工芸作家。塗りによる造形を主な表現手段とする/第3回金沢・世界工芸トリエンナーレ大賞受賞/日本クラフトデザイン協会会員/文化教育学部准教授を経て芸術地域デザイン学部准教授

鳥谷 さやか (染色工芸)



染色でかたちを創ること：素材や技法、そこから生まれる表現などを通して、染色について考えていきます。
 佐賀大学文化教育学部美術・工芸課程卒業/同大学大学院教育学研究科修士課程修了/九州新工芸家連盟、日本新工芸家連盟会員/福岡県立太宰府高等学校講師を経て佐賀大学芸術地域デザイン学部講師

今後の開講予定

芸術教養Ⅴ 【平成31年度前期】

- 芸術の力5「やきもの力」 田中右紀
- デザインの力5「石膏型鑄込み成型とプロダクトデザイン」 三木悦子
- 「やきもの」を科学的にとらえ、新しい「やきもの」を創造する 赤津隆
- 窯芸と造形 湯之原淳
- ろくろ成型と装飾技法 甲斐広文

上記の詳細と、同年後期の開催については、来年度に公表します。

